

気候変動や担い手不足により

産直産地がいま、危機的な状況です

2026年10月1日より
新基準で育てた
野菜・果物をお届け



農薬削減基準

エコ・チャレンジ

が変わります。

環境保全と持続可能性のために、
化学合成農薬、化学肥料を慣行栽培基準の
1/2以下に削減する「エコ・チャレンジ」。
気候変動などの時代の変化を受けて、
より「今」に合った形に見直ししました。



過酷な暑さのもとでの除草
などの作業は、生産者にとっ
て高い健康リスクに



高齢化で農家の数は急激に
減少。広大な畑の管理が困
難になっています



温暖化によって今までにな
い病気や虫が発生。獣害も
多発し、深刻化しています

異なる立場の
多くの人が参加！

組合員・役職員と

13回

のべ582名が参加

生産者と

12回

のべ534名が参加



とくに夏場の高温が影響し、
“現在と同じ基準での生産継続は限界”という産地も。

これらの課題を受けて、パルシステムでは、

2024年度から「エコ・チャレンジ」基準の見直しをスタート。

これまでも定期的に見直しを行い変化・進化してきた「エコ・チャレンジ」。
組合員や生産者と計25回もの討議を重ね、新しい基準が決まりました。

新しい基準も“持続可能”が合言葉

ここは変わらない

- 化学合成農薬、化学肥料の使用回数を
各都道府県で定められた慣行栽培基準
の1/2以下に削減します。
- 土中の微生物を守るため、土壌くん蒸
剤(※)は使いません。

※土壌中の虫や菌の駆除または除草目的に使用される
農薬のうち、ガス化された農薬のこと。



2026年夏に産地や
生産者取材。基
準改定までの思いが
語られています。

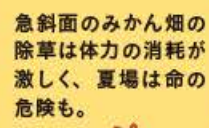
ここが変わります

- 農薬の使用回数の制限内で「除草剤」
が使えるように。
- 青果の種子消毒は、農薬使用回数のカ
ウント対象外に変更。(消毒なし種子の入
手が極めてむずかしい現状を考慮)
- これまでも定めていた「削減目標農薬」
の対象成分を見直し。

除草剤を使わずに
育てると…



広大な北海道の玉ね
ぎ畑は草とりもすべ
て手作業。人手不足
が深刻です。



急斜面のみかん畑の
除草は体力の消耗が
激しく、夏場は命の
危険も。

「エコ・チャレンジ」は、
環境にやさしく、人にもやさしいあり方をめざしています。
新基準になってもその志は同じ。
組合員・生産者のみなさんといっしょに、
これからも時代に合った持続可能な農業への挑戦を続けます。



■ 遺伝子組換え表示	
遺伝子組換え対象作物を使用していない商品および青果・酒には表示しません。 ※遺伝子組換え対象作物:大豆、とうもろこし、じゃがいも、菜種、綿実、アルファルファ、てん菜、パパイア、からし菜 ※GMO・NOI(飼料)の分別生産流通管理は、とうもろこしが対象。	
不使用	GMO 不使用
主原料および副原料において遺伝子組換え原料を排除し、検査においても不検出の商品	
GMO・NOI (食品)	GMO 不使用
生産・流通・製造段階において遺伝子組換え原料を排除した商品。主原料および副原料いずれかで遺伝子 組換えの混入を防ぐため、分別生産流通管理している商品。※ただし主原料が不分別の場合は、不分別	
GMO・NOI (飼料)	GMO 不使用
牛乳、鶏卵、鶏肉等の飼料において遺伝子組換え作物の混入を防ぐため分別生産流通管理している商品	
副原料 不分別	GMO 不使用
原料のなかで水を除く、構成比が5%以上のものは対象外の原料を使用しているが、5%未満の原料に不分別 の原料が使われている	
不分別	GMO 不使用
原料のなかで水を除く、構成比が5%以上のものに、不分別の原料が使われている	
原料のなかで水を除く、構成比が5%以上を主原料、5%未満を副原料とします。	

■ パルシステムの取り組みを表示

pal	パルシステムが独自開発 したオリジナル商品	組合員 開発	組合員による商品開発チ ームなどが、商品開発に 協力した商品
産直	産直の精肉および100% 提携産地の水産品	産直 原料	主原料で、かつ当該商品 を製造するうえで不可欠 な原料に産直品を使用し ており、かつその原料が 100%産直品の加工品
リユース	リユース・リサイクルする もの(紙パック・びん類・ 野菜の通い箱等)	プラ 削減	容器包装や付属(ストロ ーなど)のプラスチック 削減に取り組んだ商品

■ アレルゲンの表示

アレルギーのある方は、商品包材の表示を必ずご確認ください。	
表示品目	卵 乳 小麦 そば 落花生 えび かに くるみ 大豆
表示方法	卵 乳 麦 そ 落 え か く 豆
青果・米・卵・酒・非食品を除くすべての商品のうち、原材料に特 定原材料8品目と大豆が含まれている商品には、その品目名を略 称で表示しています。	
※大豆を除く特定原材料に準ずる19品目については、表示していません。 ※コンタミネーション表示については、特定原材料8品目と大豆で、かつ製 造者から情報提供をいただいた商品のみの表示となっています。(乳)(そ のように)で表示しています。	

配達・利用についてのお問い合わせ

■ 配達、交換、返品、請求関係、休止、住所変更など

まずはヘルプ情報サイトへ

パルシステム ヘルプ



- よくある質問
- FAQ、問い合わせフォーム
などもこちらから

電話でのお問い合わせが必要な場合はこちらへ。通話料は無料です。

0120-868-014 月～金曜日:9時～20時 土曜日:9時～17時

※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

商品についてのお問い合わせ

■ 原材料、賞味期間、使い方、レシピ など

【商品情報ダイヤル】

0570-011-099

月～金曜日:10時～17時

お問い合わせをいただいた際、
お名前、組合員番号、電話番号を伺います。

※ナビダイヤルは有料です。固定電話の場合、180秒ごとに8.5円
+消費税でご利用いただけます。なお、各携帯通信事業者が提供
している「通話料定額プラン」の対象外となります。

レシピは
こちらで検索



その他のお問い合わせ

■ 欠品情報自動お知らせダイヤル 0120-829-804 (受付時間:配達日当日6時～次回配
送日前日23時) ※欠品情報案内後にあたりに欠品が発生する場合があります。

■ CO-OP共済 コープ共済センター 各種保険 共済連保険事務センター
0120-50-9431 月～土曜日:9時～18時 0120-201-342 月～金曜日:9時30分～17時

■ カタログ「Caica(かいか)」 サービス事業課 0120-114-312 月～金曜日:10時～17時
チケットはこちら

■ カタログ「Caica(かいか)」雑誌年間購読、学習教材・講座、国内旅行など ■ カタログ「スクエア住まい
とくらし」シニア防犯、ネズミ対策、ハウス・エアコンクリーニング、ふとん丸洗い・仕立て直しなど住まいと
くらしのサービス サービス事業課 0120-374-335 月～金曜日:10時～17時

パルシステムの商品は転売禁止です。【商品の返品・交換について】 ●返品・交換ができる場合 ●食品以外の商品でカタログとのイメージ違い ●代替品がお気に召さない ●商品不良 ●返品・交換ができない場合 ●食品、衛生用品(ティッシュペーパー、
オーラル用品など)、化粧品、肌着、植物・種、ペットフード、ポイント景品、チケット ●指定により加工した商品(名前シールなど) ●購入者の責任により傷や汚れが生じた商品 ●返品・交換の方法 ●商品お届け後8日以内にパルシステムにご連絡ください。